

# GS750/1000詳細図鑑



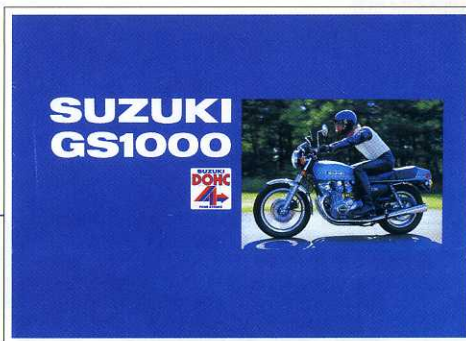
## 1978

### 余分なものを廃し、 750から飛躍的に 性能向上を果たしたモンスター

#### ●スズキGS1000主要諸元

- エンジン 空冷4サイクル並列4気筒DOHC2バルブ 70.0×64.8mm 総排気量997cc 圧縮比9.2 気化器VM26SS 点火方式バッテリー 始動方式セル
- 性能 最高出力87hp/8000rpm 最大トルク8.5kgm/6500rpm
- 変速機 5段 変速比①2.500 ②1.777 ③1.380 ④1.125 ⑤0.961 一次減速比1.775 二次減速比2.800
- 寸法・重量 全長2340 全幅755 全高1145 軸距1605 最低地上高155 シート高840(各mm) キャスター27° トレール116mm タイヤサイズ①3.50-V19 ②4.50-V17 車両重量234kg
- 容量 燃料タンク19ℓ オイル3.4ℓ
- 輸出車 (1978年型欧州向けGS1000H)

▼78年型の欧州向け(左)は3タイプのグレードが存在する。型式名GS1000C=(Cは78年の年度記号)スポークホイール仕様、GS1000HC=キャストホイール仕様、そしてGS1000EC=キャストホイール+エア加圧式リヤショック採用車、である。だがアップハンドルを備えた北米向けは2グレード設定で、GS1000Cがスポークホイールで段なしシート、GS1000ECがキャストホイールで段付きシートだが、どちらもエア加圧式リヤショックは非採用。右は大洋州向けのGS1000ECでエアサスを装備。



▲上は77年10月の東京モーターショーに展示された生産試作車。左は78年欧州のカタログ表紙で、車名は単にGS1000だがキャストホイールに通常のリヤショックを備えたGS1000H(写真左下と同じ)。欧州は仕向け地によりブラック、マーブルストレートレッド、ソニックブルームタリック(水色)、パールブラックブルーイング(紺)、キャンディフロリダブルー(青。一般仕様を除く)の計5色展開。北米はGS1000がパールブラックブルーイングとディーパーガンディメタリック、GS1000Eがブラックと計3色を用意していた。

GS1000は、GS750を基とした発展強化型である。初期型は78年型として海外向けにデリバリーを開始。フレーム構成は若干の手直しを加えた程度だがフロントフォークは35→37mm径となりエア加圧式に、リヤショックもグレードや仕向け地によりエア加圧式を採用。エンジンは排気量を997ccに拡大しただけでなくキックシャフトを取り去り、発電容量も増大させている。外装も750とは異なる専用デザインが与えられ、初期型は側面のストライプに合わせて凹みが設けられているのが特徴だ。

キャストホイールはリヤ17インチ、スポークホイールはリヤ18インチで、ともに前後タイヤはVレンジを装着する。

## GS1000C

GS1000のみ年度記号入りで表記しています。

- 車台番号は欧州、北米仕様とも連番で、スポーク仕様(GS1000C)がGS1000-100001~キャスト仕様(GS1000HC/EC/S)がGS1000-500001~

Ride the lightweight, lightning fast GS1000E. It's a sensation you won't forget.

## SUZUKI GS1000E

